

# 淡路支部ニュース

2023. 1. 25  
No. 346

兵庫県保険医協会淡路支部  
〒656-1313 洲本市五色町  
鮎原西1-1 たかたクリニクス内  
☎0799-3012272

## 新年のごあいさつ

### 医療費抑制策の転換を

兵庫県保険医協会淡路支部 支部長 高田 裕



向かい始めた一年でした。

一方でコロナ感染第8波や季節性インフルエンザなどの感染拡大が懸念されるなか、医療界を取り巻く状況は厳しさを増しております。この間、医療機関は感染対策

2023年の新春にあたり、会員の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症が続く中で、徐々その振る舞いも変容し行動制限も解除の方向に

の他、補助金申請や頻繁に変わる診療報酬点数への対応で忙しい日々を送ってきました。また、受診抑制による収入減少はなかなか回復せず、診療報酬改定でも十分な補填はされないままとなっています。

エネルギー価格高騰と円安による光熱費の増加も医院経営を圧迫しつつあります。とりわけ、オンライン資格確認の義務化と保険証廃止など、地域医療に大きな影響を及ぼす課題に対して、声を上げていく必要があるかと思えます。

このコロナ禍において、医療費抑制策を転換し、公益医療を提供する医療機関の運営を安定させることこそ、国民が安心して医療を受けられることにつながる確かな道であります。

支部活動においては、昨年3月には4年ぶりに医師会との共催で「(医科)診療報酬改定研究会」を開催しました。当日は、悪天候にもかかわらず100人を超える参加をいただき、協会が取り組む「75歳以上の医療費窓口負担2

割化」中止署名にも多数協力いただきました。また、コロナによる各種制限が緩和され、島内の感染状況も落ち着いてきたことから、2年ぶりに症例検討会「他科を知る会」や「(歯科) 会員懇談会」もリアルで開催いたしました。今後もコロナ等の状況を見ながらリアル・ウェブでの支部企画を開催し、先生方のお役に立てればと考えております。

淡路支部は、様々な組織・個人と協力し合い、ともに地域医療・保健活動における信頼・絆の核となり、暮らした医療・福祉を支え続ける確かな存在でありたいと考えています。本年も何卒よろしく願い申し上げます。

症例検討会「他科を知る会」

# 循環器内科の略語や検査数値の診方について

**81歳男性**  
2か月前から特に前兆なくふーっとする感じを自覚していた。階段を上っている際に突然失神されたため当院へ救急搬送となる。

100 Hz 25.0 mm/s 10.0 mm/mV 2 Hz 5s

Soichiro Yamashita

講師の山下宗一郎先生(写真右下)が多数の症例を分かりやすく解説

淡路支部は11月8日、洲本市健康福祉館で、シリーズ第4回目となる症例検討会「他科を知る会」(循環器内科シリーズ第1回)を洲本市医師会と共催でWEB併用で開催し、会員ら21人が参加した。今回は兵庫県立淡路医療センターの循環器内科の山下宗一郎先生が講師を務めた。

講師の山下先生は、心不全、虚血、不整脈などの症例を提示しながら、検査数値をどう読むか、心エコー所見用紙など、単語の意味だけでなく検査結果より読み取るべきことなどを解説。また、後半は抗不整脈薬をどのように用いているか等の循環器の症例検討を多数行った。

参加者より「心不全について今まで以上に理解を深めることができ、大変有意義な内容だった」、「今後ぜひ循環器内科をテーマにシリーズ化してほしい」などの声が寄せられた。

第100回評議員会

# WEBを活用した多彩な支部企画について報告



発言する大橋明評議員

協会は11月15日、第100回評議員会・臨時決算総会・第45回共済制度委員会を開催。評議員ら85人が参加し、2022年度前半期会務報告と後半期の重点課題、決議を承認した。

大橋明評議員(淡路市)が支部活動を報告。コロナ禍でのリモート会議(幹事会)の毎月開催や洲本市医師会との共催企画シリーズ第4回目となる症例検討会「他科を知る会」(2面)や医科歯科連携企画「日常診療勉強会」等、WEBを活用した取り組みについて発言した。

## 新型コロナ訪問診療チーム「KISA 2 隊」との懇談

### 自宅療養者が安心して療養できる環境作りについて交流

**KISA2 隊大阪の往診実績(第6波)**

<p>自宅往診依頼受託人数502人</p> <p>往診人数378人</p> <p>オンライン診療人数124人 (2022年1月~2022年5月)</p> <p>フォローアップ回数 1455回 (2022年1月~2022年5月)</p>	<p>クラスター施設支</p> <p>訪問施設数</p> <p>支援回数</p> <p>抗体療法実施回数 (2022年2月~2022年5月)</p> <p>(参考 2021年9月~12月 第5波)</p> <p>自宅往診依頼受託人数88人</p> <p>往診人数59人 オンライン診療人数29人</p> <p>フォローアップ回数 199回</p>
---	---

(第7波(2022年6月~8月)では928名の依頼受託、78件のクラスターに介入)

- 大阪市内全域をカバー
- ピーク時には1日最大15件の依頼に対応
- 担当患者は療養解除又は入院や宿泊療養が決定するまでフォローアップ
- 全国初の在宅抗体カクテル療法(2021年9月)

KISA2 隊

支部は10月11日、新型コロナウイルス感染症拡大によって自宅療養を余儀なくされている患者さんを訪問診療で支える仕組みを全国各地で組織する「KISA 2 隊」との懇談をリモートミーティング形式で行い、会員ら6人

が参加した。

#### 「KISA2 隊大阪」の小林正宜先生(写真右上)

参加者からは、「自宅療養患者の対応は非常に参考になった」「コロナ禍での現場の混乱は保健所や病院の統廃合による影響が大きい」等の声が寄せられた。

「KISA 2 隊大阪」の小林正宜先生は、コロナ感染拡大によって、本来入院加療すべき患者が自宅療養を余儀なくされる状況の中で、自宅療養者を往診で支える体制を行政、保健所、感染コントロールチームと連携し、24時間往診対応を行う仕組みを作られた背景と経過について報告し、コロナ禍においての職種の枠組みを超えた地域連携の重要性を強調した。

# ぜひご参加ください!

兵庫県保険医協会淡路支部「会員懇談会」ご案内

## 個人医院の閉院・継承

～継承先のない場合、親子間、対法人を含む第三者継承～

日時 2月18日(土) 18時～20時30分

(講演1時間+質疑・交流)

会場 匂香魚佐太 (淡路市志筑1554-1、0799-62-3100)

※会場には駐車場がございませんので、お車でお越しの際には「淡路市休日応急診療所」  
(津名ふれあいセンター・淡路市志筑1600番地1)の駐車場をご利用ください

講師 牟田修氏 (エニータイムヘルスケアコンサルティング株式会社)

参加費 1万円 (料理/飲料代込)

日頃より協会活動にご理解とご協力賜り誠にありがとうございます。

早速ですが、懇親会を兼ねた会員懇談会を開催いたします。

懇談会では、閉院と継承をテーマに「身内に継承者がいないなら、いつまで診療するか」、「閉院にあたって、どういう問題が考えられるか」、「子が継承するなら、どのタイミングがよいか」、「身内以外の第三者継承にはメリットがあるだろうか」など、医院やご自身の今後について備えるために、医院開業、継承を数多くフォローされておられるコンサルタント会社のエニータイムヘルスケアコンサルティング(株)の牟田(ムタ)氏をお招きして話題提供頂きます。

前半は講演会形式で話題提供頂き、後半はお食事を交えてざくばらんに意見交換できればと考えております。

いま閉院・継承を考えておられる先生はもちろん、前もって心構えをしておきたいという先生も、この機会にぜひご参加ください。

【淡路支部長・高田記】

※お問い合わせは、Tel 078-393-1805 事務局 足立 まで

※質問されたい事項がある場合、事前に事務局までお寄せいただければ講師にお伝えします。

[E-mail] [t-adachi@doc-net.or.jp](mailto:t-adachi@doc-net.or.jp) または [Fax] 078-393-1802 (足立まで)

お申し込み Fax078-393-1802 足立 宛

2月18日(土) 兵庫県保険医協会淡路支部「会員懇談会」に

ご参加 ( ) 人 都合がつけば ( ) 人

お名前 \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_

お電話 ( ) \_\_\_\_\_

※お申込み・お問い合わせは☎078-393-1805(事務局：足立)まで